

平成29年5月1日

平成29年度病害虫防除技術情報（第1号）

和歌山県農作物病害虫防除所

モモせん孔細菌病の防除について

1. 対象地域：県北部
2. 発生時期：4月～8月
3. 発生状況：
  - 1) 前年8月の発病葉率は24.3%（平成12.1%）であった（図1）。
  - 2) 本年4月中旬の葉における病斑の発生園率は20%（平成12%）、発病葉率は0.3%（平成0.3%）であった（表）。
4. 発生予想：やや多
5. 防除対策
  - 1) 伝染源となる春型枝病斑形成枝（図2）を剪除し、発病果（図3）を除去する。
  - 2) 強風雨により感染が拡大するため、降雨前の予防散布を徹底する。
  - 3) 使用する薬剤は各地域の防除暦を参照し、使用方法に注意する。
  - 4) 果実発病軽減のため、品質に影響しない範囲で速やかに袋かけを実施する。
  - 5) 設置している防風ネットの補修や防風樹の管理に努める。

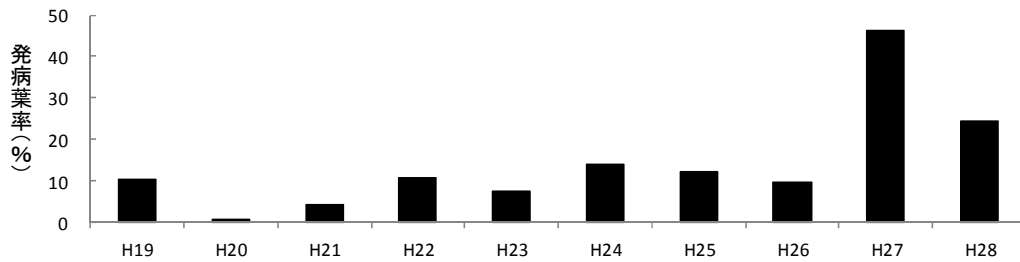


図1 モモせん孔細菌病の発病葉率(調査時期:8月、調査園数:10園)

表 モモせん孔細菌病の葉における病斑の発生園率と発病葉率

	調査年度											平成
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
発生園率(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	70	50	20	12
発病葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.6	0.3	0.3

注) 調査園数: 10園、調査時期: 4月中旬、平成: 平成19～28年の平均



図2 春型枝病斑形成枝（紫黒色）



図3 幼果の病斑（ヤニ溢出）

担当：農作物病害虫防除所 紀の川駐在  
間佐古、弘岡 電話：0736(73)2274